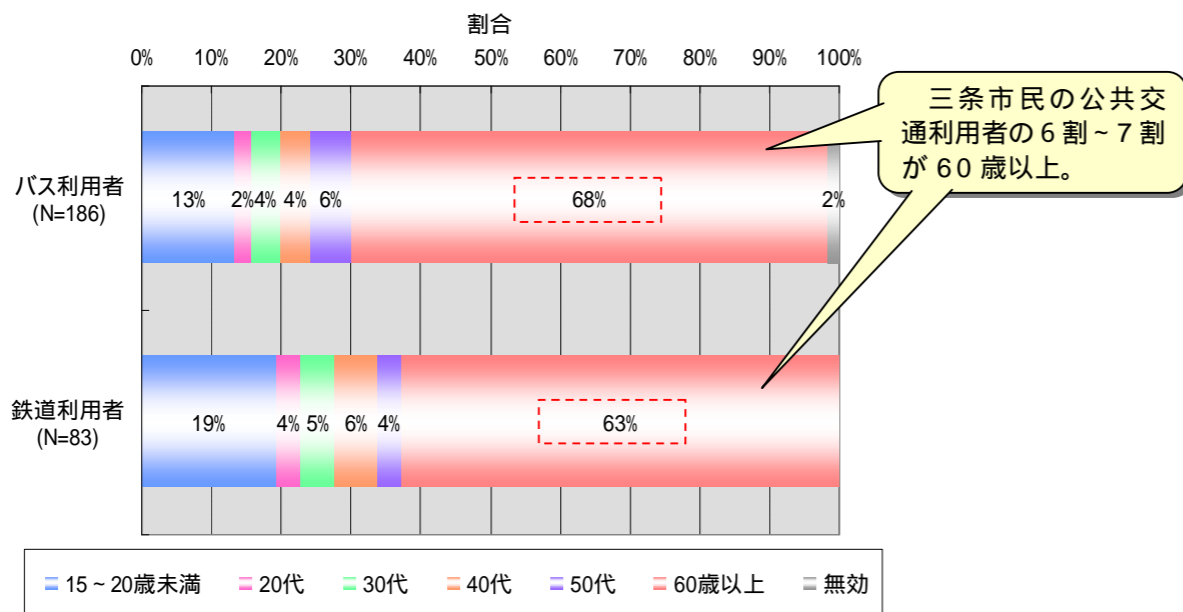


6.3.4 車を運転できない人に対する利便性向上

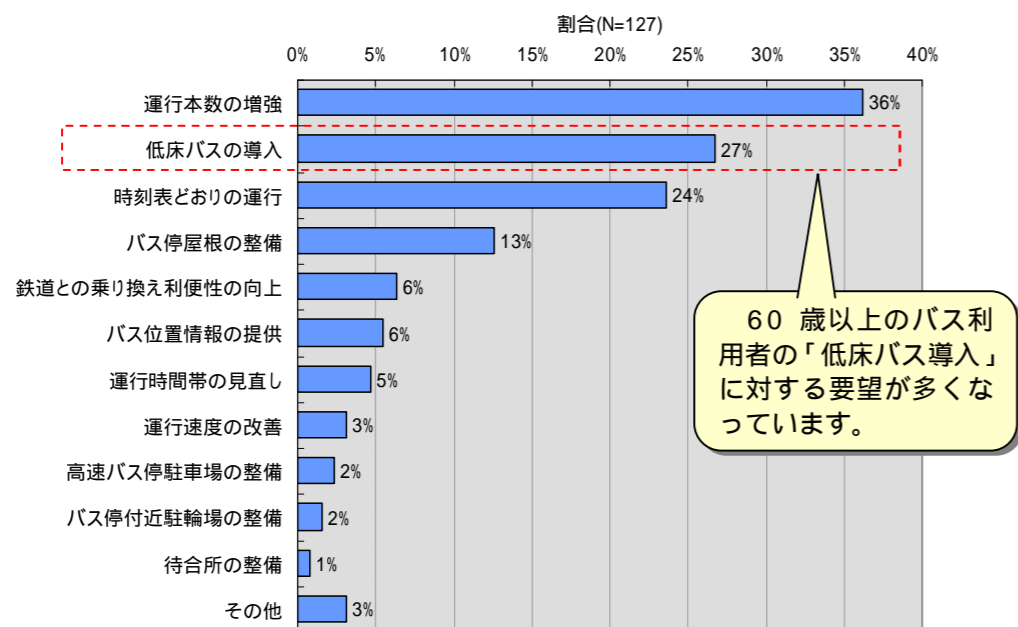
(1) 車を運転できない人に対する利便性向上に向けた課題

高齢者に対する課題

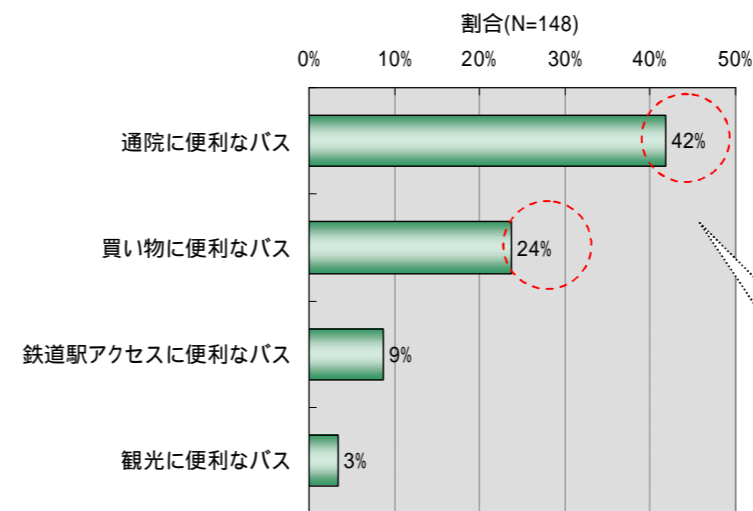
- ・ 三条市民の公共交通利用者のうち、6割以上が60歳以上です。
- ・ 60歳以上のバス利用者の改善要望として「低床バスの導入」に対する要望が多く、また、市中心部に向かう通院・買物に便利なバスのニーズが高くなっています。
- ・ このため、利用者の多い高齢者に配慮するため、低床バスの導入や鉄道駅のバリアフリー化を進めるとともに、通院・買物に便利なバスを導入し、高齢者が自動車を利用しなくても日常生活に必要なサービスを楽しむことができるようにする必要があります。



図．公共交通利用者の年齢層別内訳

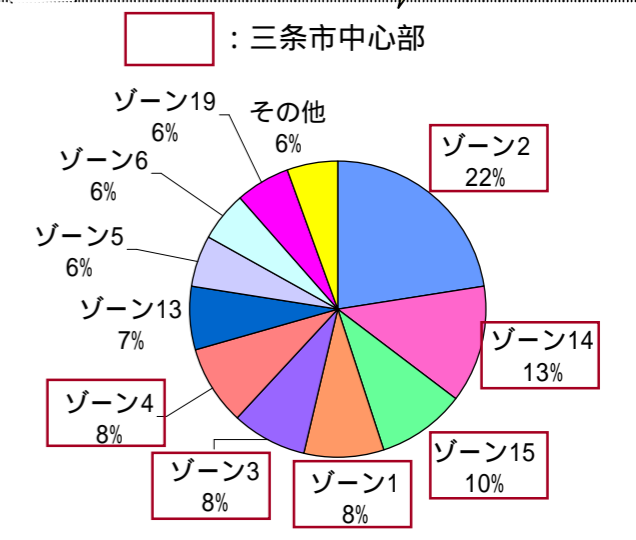


図．バスの改善要望(60歳以上の市民)

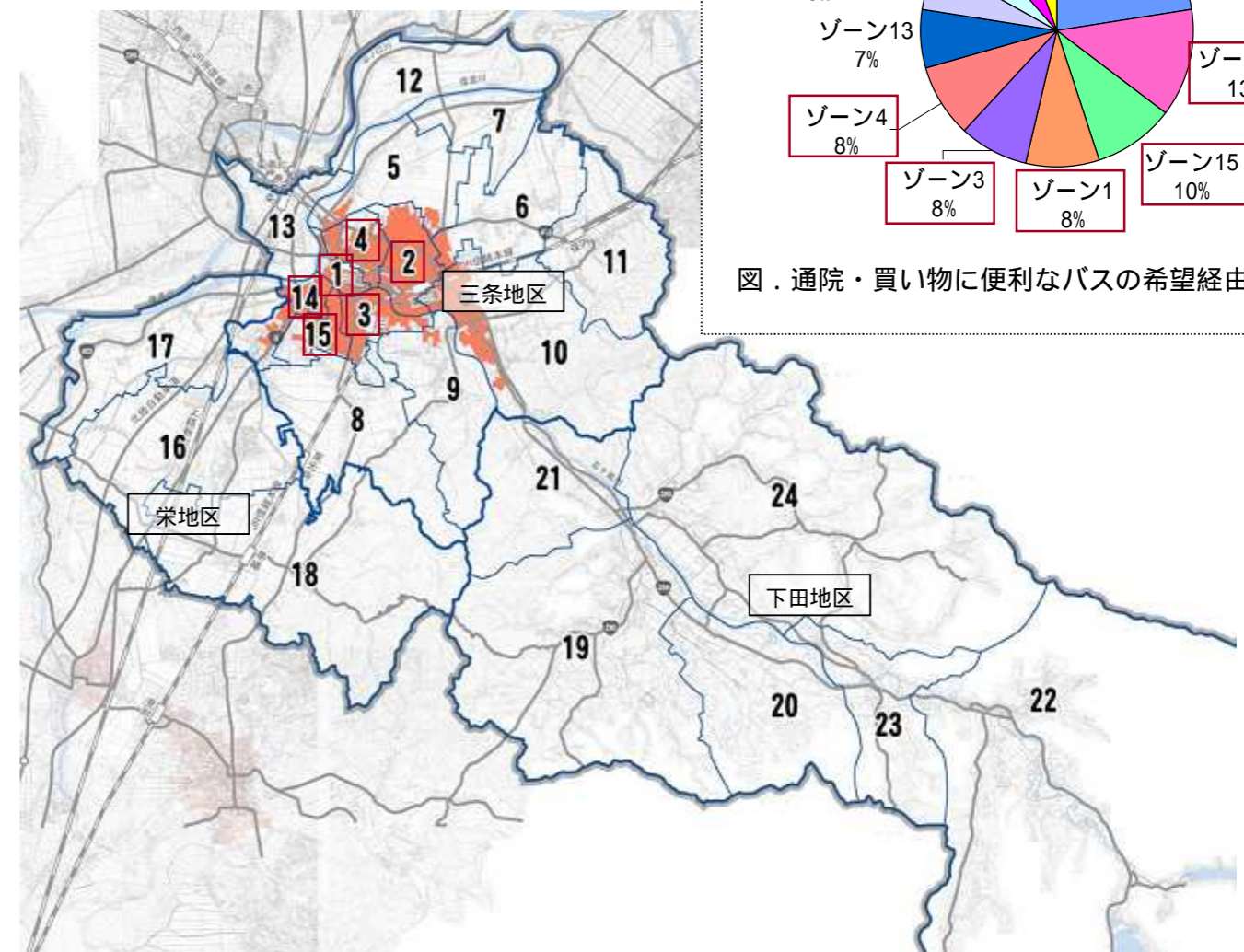


図．バスに対する住民ニーズ(60歳以上の市民)

通院・買物に便利なバスの希望
経路地の約7割が市中心部



図．通院・買い物に便利なバスの希望経路ゾーン



(資料)三条市の公共交通に関するアンケート調査(H19年12月実施)

学生(小中学生)に対する課題

- ・スクールバスが未導入の学校区のうち、西鱈田小学校・大崎小学校・大島小学校・大島中学校では、他校に比べ登下校の距離が遠く、特に悪天候時での徒歩・自転車による登校負担や家族による送迎負担が大きい状況にあります。
- ・このため、学校までの距離が遠い生徒に対して、学生用デマンド型バス(または乗合タクシー)などの公共交通を導入することで、安全安心な登下校を支援する必要があります。

スクールバスが未導入の学校区のうち、西鱈田小学校・大崎小学校・大島小学校・大島中学校では、他の学校に比べ、最大登下校距離が遠くなっています。

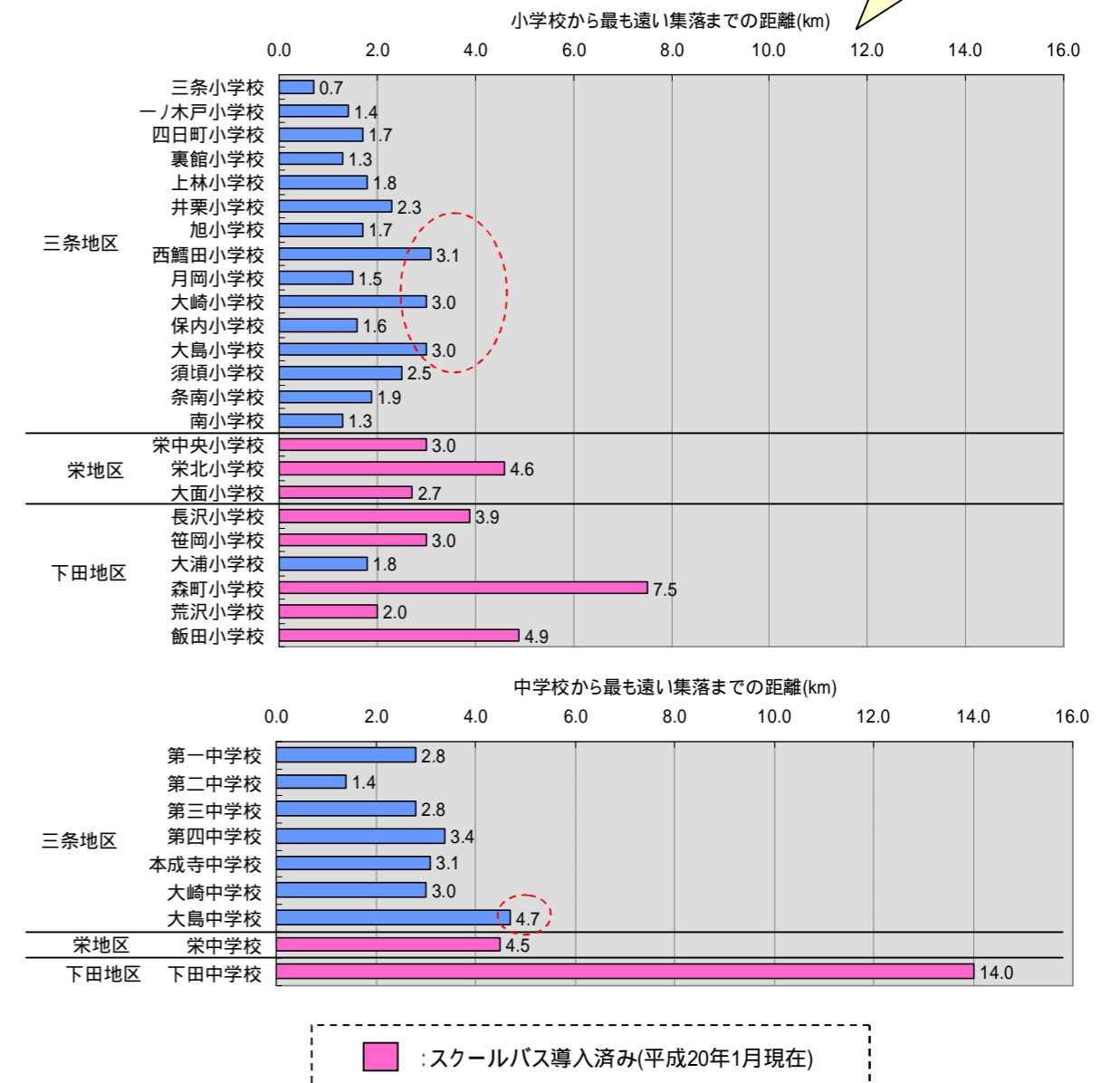
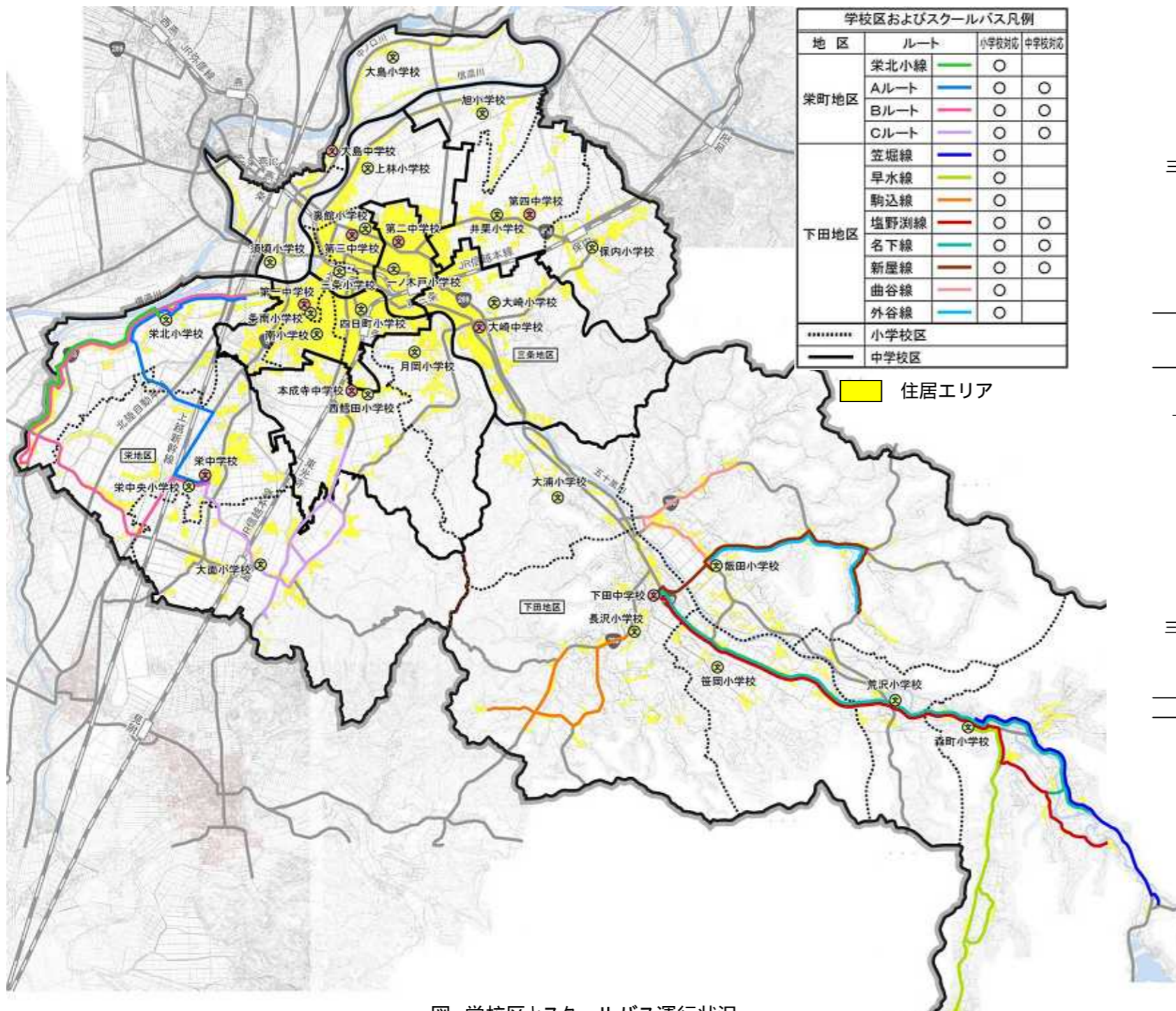


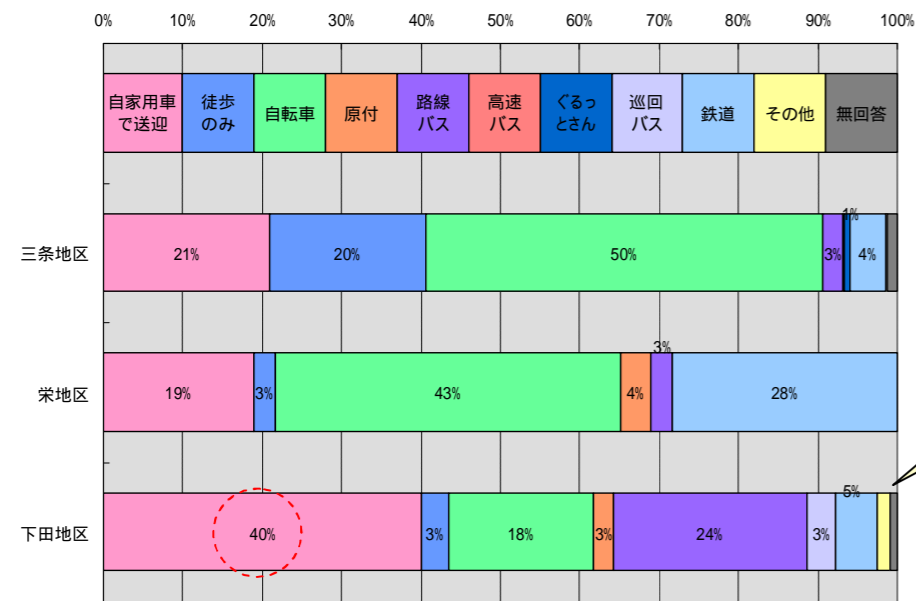
図. 学校区別の最大登下校距離

学校から直線距離で測定

図. 学校区とスクールバス運行状況

学生(高校生)に対する課題

- ・市中心部にある高校生徒の登下校交通手段割合を見ると、自動車による送迎の割合が高く、特に下田地区学生は約4割と他地区に比べ非常に高い状況にあります。
- ・近年利用者が伸び悩む循環バス「ぐるっとさん」は、市中心部の高校を經由していますが、通学目的の利用者が全体の6%と低い状況にあります。一方で、月別の利用者数を見ると、自転車利用や徒歩が敬遠される降雪期の利用者が増加しており、状況によって学生の利用ニーズが高くなっています。
- ・このため、下田地区から市中心部に向かう学生専用バスの導入により、家族による送迎負担を軽減するとともに、循環バス「ぐるっとさん」を地域の生活交通としてさらに定着させるため、学生ニーズにあった運行形態に見直していく必要があります。



下田地区から市中心部の高校への交通手段のうち、約4割送迎に依存。

(資料)高校生アンケート調査(H19.12実施)
対象:新潟県中央工業高校・三條商業高校・三條東高校・三條高校の生徒

図. 地区別高校生の登下校交通手段割合

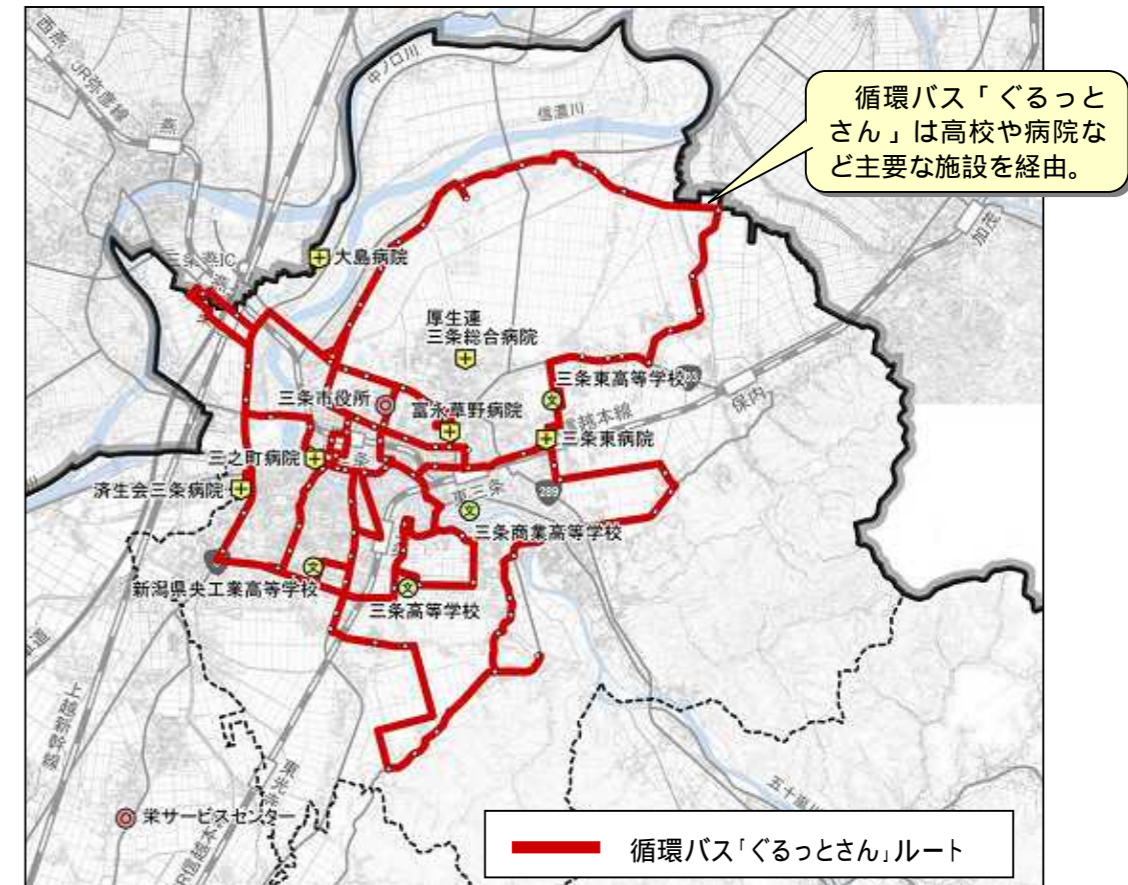


図.ぐるっとさんのルート

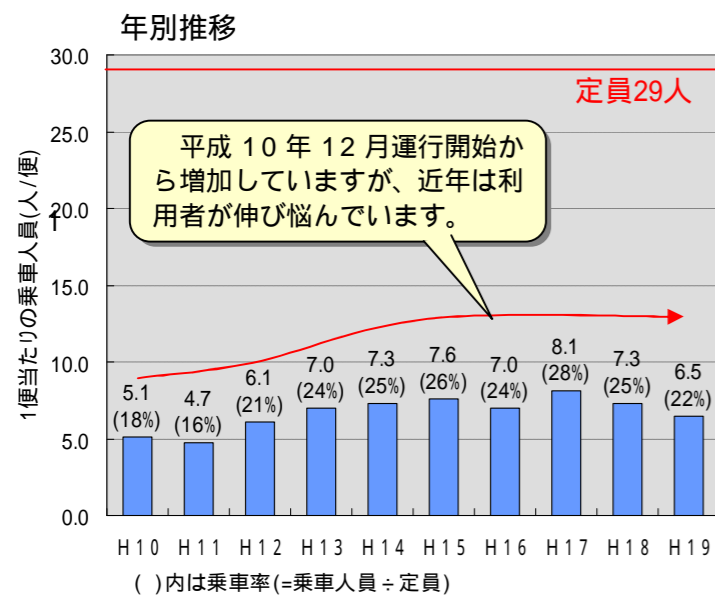
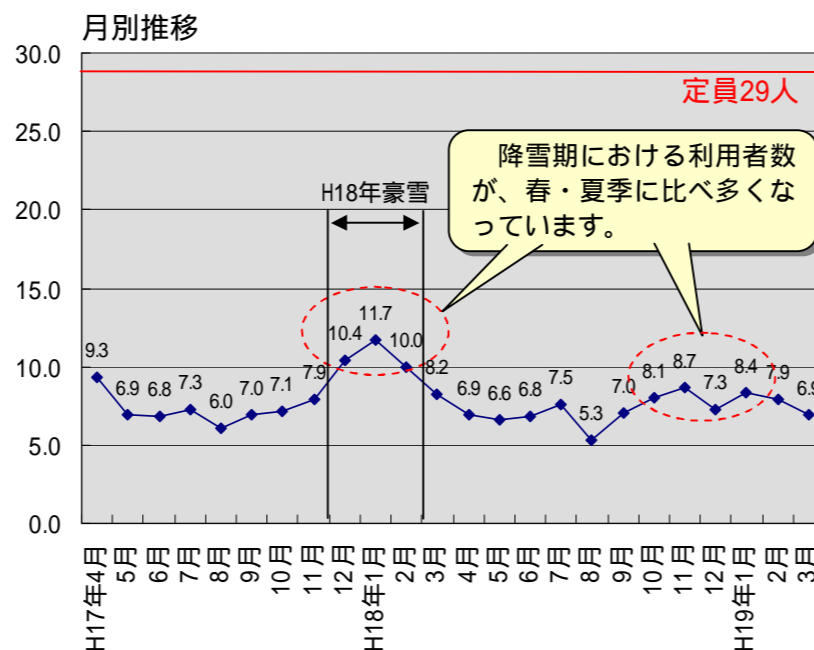


図. 循環バス「ぐるっとさん」の1便当たり利用者数の推移



臨時便・増発便は除く

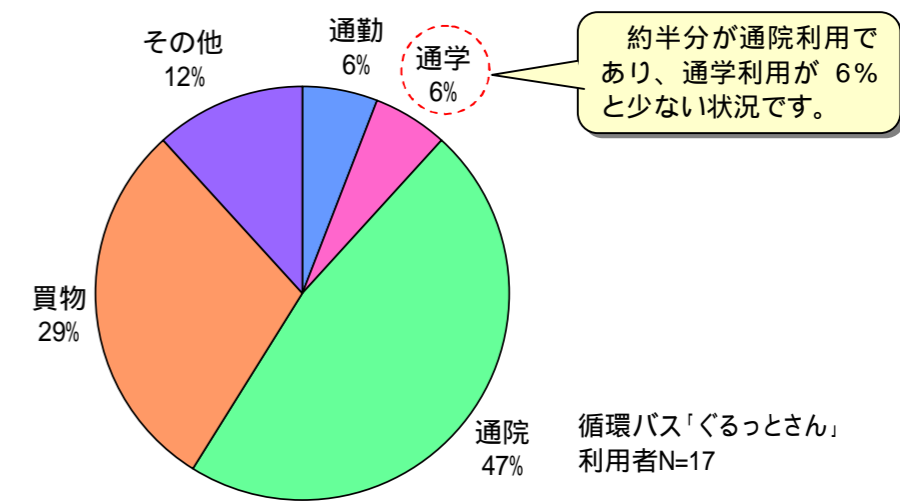


図. 循環バス「ぐるっとさん」の利用目的

(資料)三條市の公共交通に関するアンケート調査(H19年12月実施)

(2) 車を運転できない人に対する利便性向上に向けた施策メニュー

施策 4-1 : 鉄道駅のバリアフリー化

- ・ 高齢者や障がい者等の円滑な移動及び建築物等の施設の円滑な利用を確保するため、鉄道駅のバリアフリー化を進めます。

写真 . エスカレーター設置イメージ



写真 . エレベーター設置イメージ

**施策 4-2 : 低床バスの導入**

- ・ 高齢者や障がい者のバス乗降における負担を軽減するため、地面と床面との段差が低い低床バスを導入します。

(事例) 新潟市におけるノンステップバスの導入(にいがた基幹バス「りゅーとリンク」)

**施策 4-3 : 高齢者用デマンドバス(または乗合タクシー)の運行**

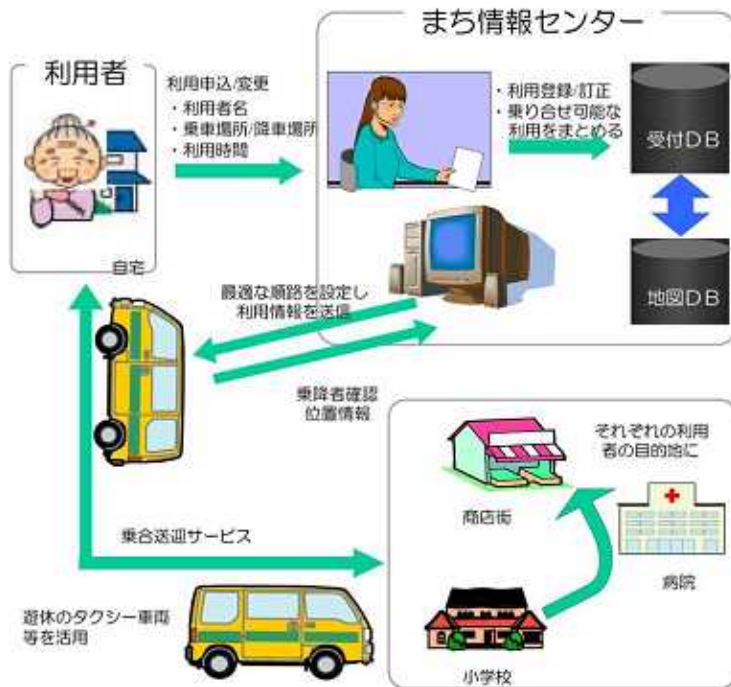
- ・ 市中心部への通院や買い物に対する移動ニーズが高いことから、市中心部から距離がある地区(栄地区・下田地区など)から予約型乗合タクシーを運行します。

施策 4-4 : 地域内における学生用デマンド型(または乗合タクシー)の運行

- ・ 学生の通学・帰宅に対応したデマンド型バス(または乗合タクシー)を運行することで、家族の送迎負担を軽減するとともに、部活動後の帰宅やスクールバスが運行しない夏休みにおける学生の移動ニーズに対応します。

(事例) 福島県南相馬市(旧小高町)定路線型デマンドタクシー「おだかe-まちタクシー」

運行イメージ



まち情報センター



おだかe まちタクシー車両



路線図



時刻表

東部線		上り	下り	西部線		上り	下り
・浦尻	・井田川	8:00		・大富	・金谷	8:00	
・下蛭沢	・上蛭沢	9:00		・羽倉	・川房	9:00	
・下浦	・上浦	10:00	10:30	・大田和	・摩辰	10:00	10:30
・行津	・神山	11:00	11:30	・北鳩原	・南鳩原	11:00	11:30
・泉沢	・福岡	12:00	12:30	・小谷	・角間沢	12:00	12:30
・上耳谷	・下耳谷	13:00	13:00	・飯崎	・小屋木	13:00	13:00
・女場	・村上	14:30	14:30	・片草	・上根沢	14:30	14:30
・角部内	・塚原	15:00	15:00	・吉名	・小高	15:00	15:00
・大井	・川原田	15:30	15:30	・関場		15:30	15:30
・岡田	・南町	16:00	16:00	・西町		16:00	16:00
・田町		16:30	16:30			16:30	16:30

- ・まちなか線は午前8時から午後5時まで20分間隔で運行。
- ・予約は利用希望時間にあわせて柔軟に対応するため、時刻表は目安である。
- ・予約がない場合は運行しない。
- ・午後は、利用状況にあわせて上下便を一緒に運行する。
- ・平日のみ運行。

(資料) 福島県小高町におけるデマンド型乗合タクシー導入例 平成15年3月東北運輸局報告書

施策 4-5: 下田地区～市中心部間の通学専用バスの運行

- ・市中心部へ通学する下田地区高校生に対応した定時定路線型の専用バスを運行します。

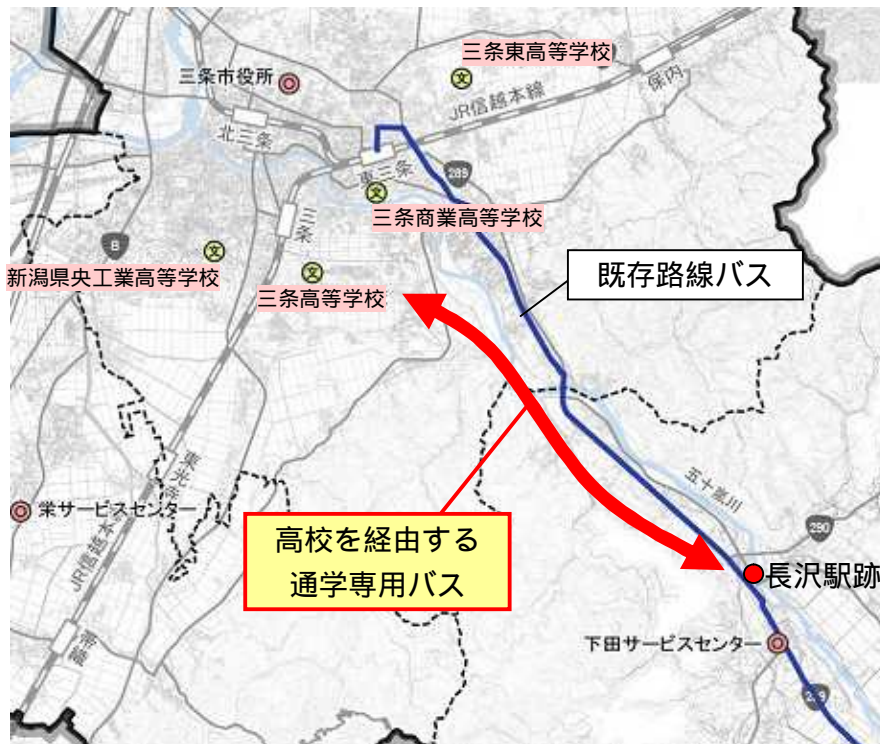


図. 下田地区の高校生通学専用バスのルートイメージ

施策 4-6: 循環バス「ぐるっとさん」の運行形態の見直し

(ルート・運行時間帯の見直し、定期券の導入など)

- ・循環バス「ぐるっとさん」をより生活交通として定着させるため、高校生のニーズに対応した運行時間帯やルートを見直すとともに、定期券の導入などにより、乗りやすい環境づくりを進めます。

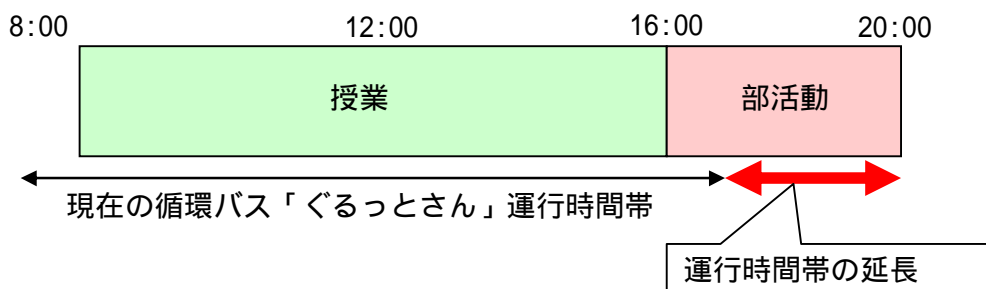


図. 運行時間帯の見直しイメージ